

多治見市議選でも不正

印刷業者認める はがき代含め請求

選挙公営制度をめぐるボ
スタ印刷業者が、公費助成が認
められないはがきの印刷代
スタ印刷業者が、公費助成が認
められないはがきの印刷代
スタ印刷業者が、公費助成が認
められないはがきの印刷代

費負担上限額約40万円を受
け取ったことを認めてお
り、市議は「市選管に提出
した収支報告書を修正す
る」としている。

印刷業者は、市議から上
限額の範囲内でボスタと
はがきを印刷するよう依頼
され、市選管への請求の際
「当時のいきさつはよく覚
えていない」と話している。

5437
6.19

乗

ボスタ一費詐欺

3市議が役職辞任願

山県市 議員辞職は触れず
議長らに

中

6.19

二〇〇四年四月の山県
市議選での選挙ボスタ
製作費をめぐる詐欺疑惑
で、水増し請求で不正に
市費を支出させたことを
認めた三市議が十八日、
市役所を訪れ、議会内で
の役職の辞任願を村橋安
治議長らに手渡した。議
員辞職については触れな
かった。

役職の辞任願を出した
のは、渡辺政勝(五)、武
藤孝成(五)、村瀬隆彦
(五)の三氏。渡辺氏が委
員長を務める議会運営委
員の辞任願を村橋議長に
手渡して受理されたほ
か、ボスタ一費詐欺
で、水増し請求で不正に
市費を支出させたことを
認めた三市議が十八日、
市役所を訪れ、議会内で
の役職の辞任願を村橋安
治議長らに手渡した。議
員辞職については触れな
かった。

「このたびは申し訳な
い」と謝罪。しかし、水
増し分の返還や進退につ
いては言及しなかったと
いう。

6.19 毎

おはよう岐阜

代印刷代 2人追加報告

多治見市議選

4月の多治見市議選
で、ボスタ印刷費が公
費負担の上限額と同じ40
万9762円だった候補
2人が19日、はがき印刷
代を市選挙管理委員会に
追加報告した。公費負担
が認められないはがき印
刷代について、2人が5

月に提出した選挙運動費
の電気代や水道代など1
回目の収支報告に間に合
わなかった分を、まとめ
て追加報告したという。

6.20 毎

3委員長が辞任願

各常任委で22日から協議

04年の山県市議選で公
費負担のボスタ印刷費
を水増し請求した疑惑
で、水増しを認めた市議
4人のうち市議会の常任
委員会の委員長を務める
3人が18日、水増し請求
の責任をとるとして委
員長の辞任願を提出し
願を提出した。

に負担させ、違法に利益
を得た。十五日に同じく
候補者だった横山善道県
議(五)と県庁で記者会見
し、謝罪していた。
(横山大輔)

【宮田正和】

山県市議選水増し請求

市が検討委設置へ

二〇〇四（平成十六）年四月に行われた山県市議選で、市議ら数人が公費負担されるポスター代を水増し請求したとされる詐欺容疑事件を受け、同市は当時の事実関係や水増しされた金の返還方法などを調査、研究する検討委員会の設置を検討していることが十九日、分かった。

これまで水増しを認められた複数の市議は市に対して、市がポスター代として印刷業者に支払った金額の全額、もしくは水増しした分について、返還を申し出ている。（一部地域、夕刊既報）

6.20
岐阜

検討委は、弁護士など外部の専門家で構成し、近く市議らにも説明した上で立ち上げる予定という。当時の事実関係

第三者機関設置へ

山県市議選 水増し請求疑惑 3人以上で構成
04年の山県市議選をめぐりポスター製作費の水増し請求疑惑で、山県市

が弁護士などの専門家を含む3人以上で構成される第三者機関の設置を検討していることが、19日わかった。第三者機関の役割として、当時の事実関係の独自調査や、ポスター費の返還方法の協議などが検討されている。【鈴木敬子】

山県市、検討委設置へ

市議選水増し請求で

二〇〇四（平成十六）年四月の山県市議選で、市議ら数人が公費負担されるポスター代を水増し請求したとされる詐欺容疑事件が起きたことを受けて、同市は、当時の事実関係や金の返還方法などを調査、研究する検討委員会の設置を検討していることが十九日、わかった。

これまで水増しを認められた複数の市議は市に対して、市が印刷業者に支払った金額の全額、もしくは水増しした分について返還を申し出ている。

検討委は専門家で構成し、近く議員らにも説明した上で、正式に立ち上げる予定という。検討委で当時の事実関係を確認

6.19 中日

6.20 毎日

れていなかったといい、調査方法に問題がなかったかを調べる。

折れた遊具は1人乗りで高さ約70センチ。長さ約35センチ、直径約2センチの鋼製のスプリングを地中のコンクリートで固定し、上にパンダやゾウをかたどった動物を設置。子どもが座り、揺らして遊ぶ遊具で3〜6歳向けという。札幌市で同様の事故が起きていた。

市職員も2カ月に1度、点検しており、市は「耐用年数や利用状況を考慮し撤去や取り換えを行うとともに、点検の手法を検討したい」と話した。

【佐野裕】

6.20
毎日

第3者委設置 山県市が検討

ポスター製作費水増し
2004年の山県市議選で当選した市議らが、ポスター製作費を水増し請求したとして、県警から詐欺容疑で事情聴取された問題

で、同市が事実関係を調査する第3者委員会の設置を検討していることが19日、わかった。

委員会には選挙公営問題検討委（仮称）で、外部の弁護士など専門家3人程度で構成し、事実関係の調査と水増しを認めている市議らから申し出のあった金の返還方法などを検討する。

ポスター製作費水増し請求問題では、栃木県栃木市が2000年3月に調査検討委員会を設置した例がある。同市の検討委では市議や印刷業者の聞き取り調査を行い、市議が印刷業者と結んだ印刷契約を白紙に戻し、市議会が議員から徴収した公費負担分の全額約1000万円を市に返還している。

統一選 岐阜県9市議選のポスター費

	岐阜	大垣	高山	多治見	関	中津川	美濃	羽島	土岐
上限額(万円)	52	35	32	40	33	32	36	35	40
上限比(人)	100%	4	5	1	15	1	4	0	18
	90%~	6	7	4	8	4	9	2	4
	80%~	9	2	2	3	4	2	6	0
	70%~	8	2	0	0	5	2	7	2
	60%~	8	7	0	1	7	1	0	0
	50%~	4	2	5	1	0	0	0	9
	50%精	12	7	31	2	5	15	0	0
0%	0	1	1	0	4	1	2	0	
請求総額(万円)	1813	953	600	1121	734	789	463	833	505

【注】金額は千円以下切り捨て。大垣は3選挙区、高山は10選挙区、関は6選挙区、中津川は8選挙区の平均額

2割近くが上限額請求

岐阜県山県市議選の選挙ポスター製作費水増し疑惑をめぐり、今年四月の統一地方選で同市と同じように選挙公営制度を導入して市議選を実施した岐阜県内九市で、立候補した計二百八十五人のうち、選挙ポスター製作費として公費負担の上限額いっぱいを請求したのは二割近い四十八人だったことが、中日新聞の調べで分かった。半額未満だったのは約三割の八十人。候補によって請求額に大きな開きがある構図は山県市議選と同じで、この問題に取り組む市民団体からは「厳しいチェックが必要」との指摘が出ている。

羽島は24人中18人 候補で半額未満は3割

中日新聞が九市に情報公開請求して判明した。九市では請求に応じてポスター費の支給がほぼ終わっており総額は約七千八百万円に上っている。各市には、ポスター掲示場の数に応じて同じ計算式で決まる公費負担の上限額がある。羽島市では候補者二十四人中十八人が上限額いっぱいを請求した。多治見市でも三十人のうち上限額いっぱいを請求する者が十七人もいて総して請求額が少なかった。多治見市選挙の担当者「ポスターの価値を見るのは難しく、たとえ高

6.20 中

チェックが必要

選挙ポスター問題に取り組む市民団体「くらし・せせん」のち岐阜県民ネットワークの寺町知正代表の話。全体的に見て高額の請求が目立つ。上限額ありきで請求されているのではないかと。山県市の例もあるので、七割以上の人について行政、議会などがチェックする必要を感じる。

額でも説明を受ければ、そんなのかなと思ってしまふ。書類が整ってないば、請求通りに支払わざるを得ない」と話す。市に水増し請求したとして市議らが県警から事情聴取されている二〇〇四年四月の山県市議選では、請求額は上限ぎりぎりから約三割まで候補者はしないという。

金額なし請求書に判

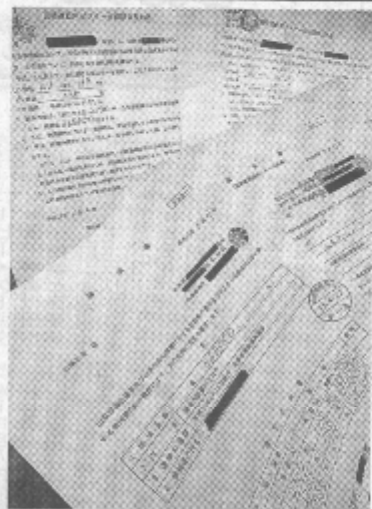
岐阜県警が市議らによる選挙ポスター製作費の詐取容疑で捜査を進めている山県市の隣、岐阜市でも、印刷業者が選挙公営制度に疑問を投げかける。「候補からは、制度の範囲内で市に請求しておく、と言われただけ」と話すのは、四月の統一選で市議からポスター製作を請け負った業者。市議は、請求金額を尋ねることもなく、市長への請求書に「請求者」として、はんこを押すよう求めてきた。今月上旬になって市から業者の口座に振り込まれてきたのは、支給限度額いっぱいの約五十三万円だった。

10万円多く受領

この業者は「上限までならいくらでもいい」という制度である限り、問題は起きる。限度額を低く抑え、余計にかかった分は候補者が自腹を切るのが本当だと思つ」と指摘した。

この仕事なら代金は「心苦しうが三十万、四十万円の間なら

県内の統一選 9市議選で選挙公営制度



ポスター制作費の請求書類。水増しして書いても市がチェックするのは難しい

4月の統一地方選で、県内9市議選で実施された選挙公営制度。ポスター制作費の詐取疑惑に揺れる山県市議選と同様の構図が浮かび上がったが、市によっては高額請求が圧倒的に多い市があったり、請求額が総じて低い市があったり。特徴のある市について事情を探った。

ポスター費請求額 各市でばらつき

岐阜、大垣、関の各市が見られた。山県市と同様では、請求額はばらつき様の傾向が顕著だった。

多治見市議「値段相当のもの」
特に高額請求が目立つのは、羽島市と多治見市だ。

高額目立つ多治見、羽島

八人、八割以上と二十二人に上った。多治見市は候補者三十人中、上限の趣旨からして続けた方

総じて低い土岐、高山

土岐市選管「説明の効果出た」
全体的に請求額の低さが目立ったのは土岐市で、候補者十二人のうち六割未満が十七人に上った。

土岐市選管は「三月下旬の候補者説明会で、公正な選挙を強く求めた効

あつて問題にならないようにしてほしい」と強く呼びかけたという。

高山市も全体的に低く、候補者四十四人中、上限額いっぱいが一、九割以上も四人おり、額の高低の差が大きかった。

ただ、いずれも高額請求の傾向はあり、三市の全候補者百十四人中、上限額の五割以上で請求したのは八十五人に上った。中でも上限額いっぱいだったのは十人いた。

また、大垣、高山、関、中津川、美濃の各市にいる請求額ゼロの候補者は、ポスター費を自費で賄ったり、制度を知らなかったりしたという。

だが、同市内の印刷業者は「昔よりもポスターの印刷費は安くなっている。デザイン費などを除けば、二十万円程度でも済ませられるはず」とも指摘している。

「上限額いっぱいには請求した羽島市議は「よその自治体で、候補者の間で請求額にばらつきがあることに、逆に驚いている」と、上限いっぱいだが、常識」との見方。上限額を約五千円下回って請求した市議も「二カ所の印刷業者に見積もってもらったが、額はどちらも変わらなかった。ちょっと値切ったら、この額になった」と明かした。

羽島市議選で、多くの候補者からポスター制作を請け負った同市内の業者は「適正利益でやっている。でも、四年に一度のことなんで、もうけな

羽島市の加藤恒夫市議長は「選挙公営は、制度の趣旨からして続けた方

同市の西尾隆久市議長は選挙の注意の徹底と、候補者も意識を高めていたのだ」とした。